

英語づけ、充実の毎日

世界ジャンボリーから帰国
市長に交流を報告

世界中のボーイスカウトが異国でキャンプ生活
をしながら交流する「第二十二回世界スカウトジ
ャンボリー」に浜松市内から参加した十三人が二
十五日、浜松市役所で鈴木康友市長に報告した。

(柴田久美子)

四年に一度のイベン
トで、スウェーデンで
七月二十七日から十二
13人
を今後に生かしたい」
とあいさつした。

日間あった。百六十一カ国から約三万人が集まり、日本からは二十二隊七百八十七人が参加した。

トウカスの
また、浜松市立高二
年伊熊大暁さん（二）は
「ピクニックで軽装の
外国人を見て、虫よけ
で厚着の日本人は警戒

浜松南高二年鈴木海渡さん（さ）が「すべて英語で大変だったけれど、浜松しずきかもと思った」と振り返った。



世界スカウトジャンボリーでの活動を報告したボーイスカウトのメンバーと鈴木市長（前列左から3人目＝浜松市役所で

異文化体験に驚き

BS世界
ジャンボリー
浜松の中高生が報告日

市長訪問

7月27日から8月7日までスウェーデンで開かれた、ボイススカウトのイベント「第22回世界ス

バーで、市立高2年伊熊大暁君(16)は「日本人に比べ、イギリスやスウェーデンの人は軽装で

カウトジャンボリー」に参加した浜松市内の中高生13人が25日、浜松市役所を訪れ、異文化を体験して感じた驚きや楽しさを鈴木康友市長に語ったという。

次回は2015年に山口県で開かれる予定で、浜松南高2年の鈴木海渡君(16)は「次はもてなし

イベントは4年に1度の開催で、161の国や
浜北・天竜の3地区のボ
ーイスカウトの選抜メン



スウェーデンでの体験を報告したメンバー＝浜松市役所